

科技高 いきもの記

Vol.73 2023.3.31

生物教員 佐藤龍平

やっぱりフィールドは楽しい！ 森と海のバードウォッチング

今年も、希望者を募ってバードウォッチングを行った。毎年お世話になっているNPO法人バードリサーチのモリヤさんとヌカさんに案内していただき、1日目に明治神宮で森に住む鳥を、2日目には葛西臨海公園で海浜性の鳥を観察した。私は鳥観察はど素人なので、明治神宮の森の中では全然鳥の姿を見つけられないが、モリヤさんたちは、「コゲラが鳴いてますねえ」とか「あ、あれはエナガの鳴き声だ」とか、姿が見えない鳥の種類も鳴き声でどんどん識別していく…すごすぎる！

結局、明治神宮ではカワセミやヤマガラなど19種を確認でき、葛西臨海公園ではユリカモメやホウロクシギ、ミヤコドリなど45種を観察できた。3月は冬鳥が北へ移動してしまっていて、かつ夏鳥はまだ来っていない、というバードウォッチングには微妙な時期らしいが、環境の違う2つの場所で色んな鳥を見つける（見つけてもらう）ことができて実に楽しかった。やっぱりフィールドは良いなあ。

明治神宮の鳥観察 (3月20日)



明治神宮の森 見上げてすぎて首が痛くなった…



ヌカさんの解説



メジロ



シロハラ



ヤマガラ



明治神宮のカワセミ ちょうど見やすい位置に止まってくれた。青色の羽が美しい。

葛西臨海公園の鳥観察 (3月22日)



卒業生のヒナタ、リン、リュウセイも駆けつけてくれてとても嬉しかった。生き物好きがフィールドで集まると実に楽しいのだ。



砂浜の鳥観察 望遠鏡で遠くの鳥を観察する



ウミネコとユリカモメ 大きくて灰色の方がウミネコ。



ホウロクシギ 細長くちびしが面白い



ミヤコドリ 日本の古典文学に登場する「都鳥」はユリカモメのことらしい。ややこしい…。



葛西臨海公園のノスリ 猛禽類のノスリがすぐ近くに止まってくれた！池の生き物を狙っているのかな。